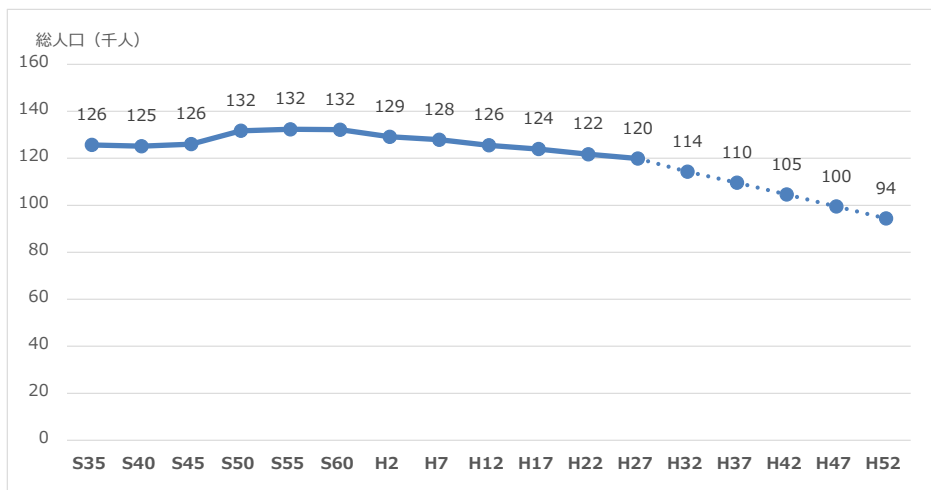


## 第4章 人口の将来見通しに関する分析

### (1) 市の将来人口の見通し

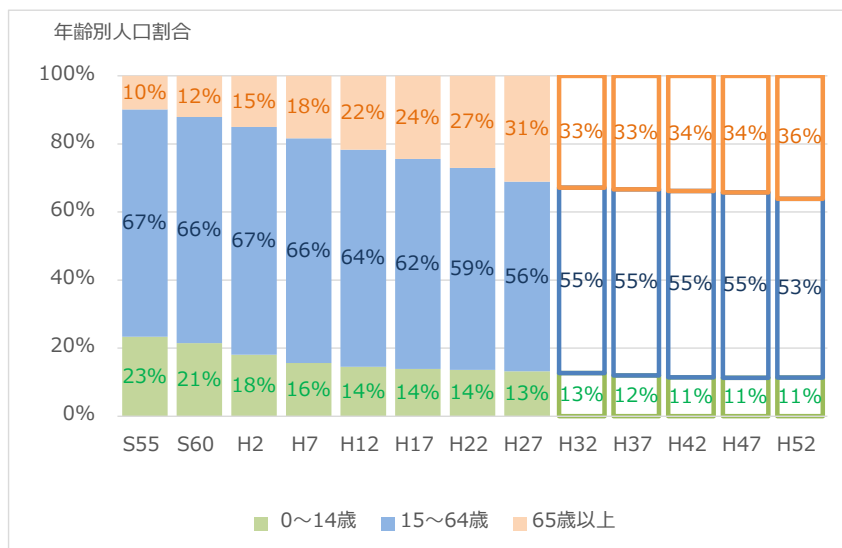
総人口が平成47年には約10.0万人となり、平成27年の約8割に減少し、高齢化率は34%を越える見込みです。

図表 新居浜市の人口見通し



資料: 国立社会保障・人口問題研究所

図表 新居浜市の年齢階層別人口構成比の見通し



資料: 国立社会保障・人口問題研究所

## (2) 将来人口の推計方法

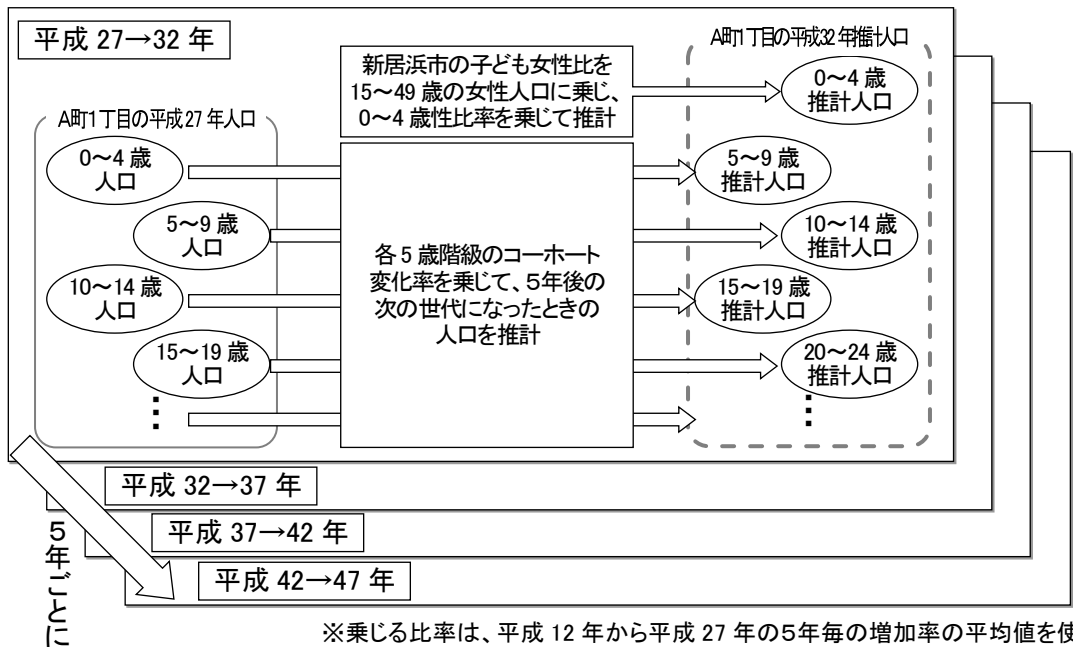
将来人口予測は、国立社会保障・人口問題研究所によるコーホート変化率法を用いて推計しています。

この方法は、コーホートと呼ばれる5歳階級ごとの人口と5年間で次の年代のコーホートになるときの変化率（実績値）を用います。0～4歳の子ども人口は15～49歳女性人口との比率である子ども女性比の仮定値より5年毎に推計していくものです。

本予測では、平成12年から平成27年の変化率や子ども女性比を用いて、5年後ごとに平成47年までの推計人口を町丁目ごとに行っています。

なお、予測の結果は、市の合計が国立社会保障・人口問題研究所による市全体の予測と整合するように補正しています。

図表 将来人口推計フロー

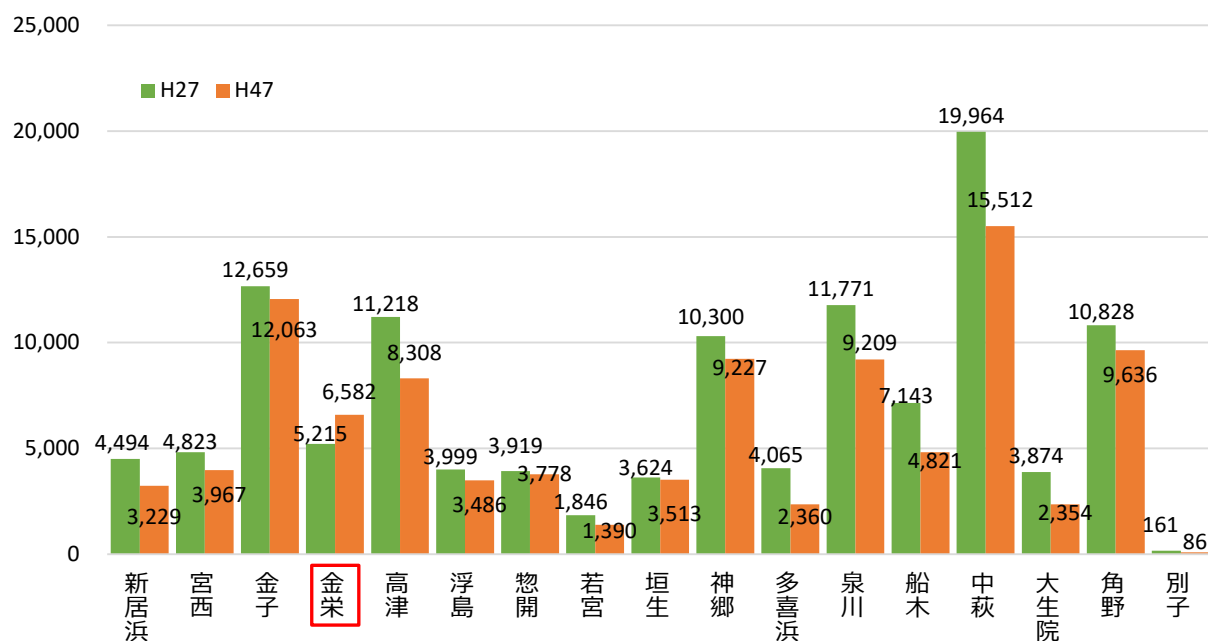


※乗じる比率は、平成12年から平成27年の5年毎の増加率の平均値を使用

### (3) 将来人口推計結果

将来人口推計結果は、ほとんどの小学校区で減少傾向にあります。金栄小学校区では増加すると見通されます。

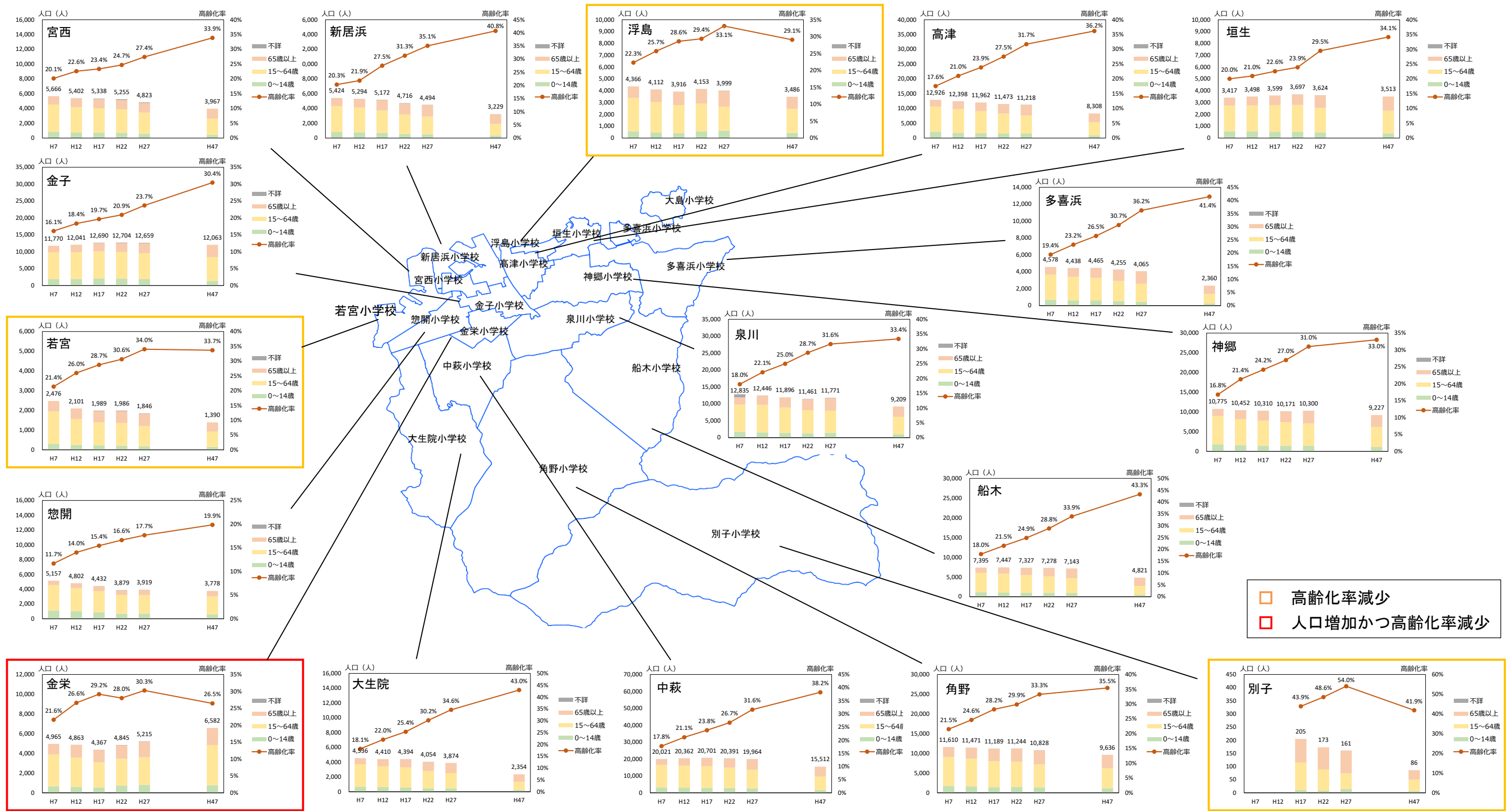
図表 小学校区別人口(平成 47 年推計結果)





年代別人口の推計結果を見ても、ほとんどの小学校区で人口減少とともに高齢化が進む傾向にあります。金栄小学校区では、人口が増加するとともに高齢化率が減少すると見通されます。

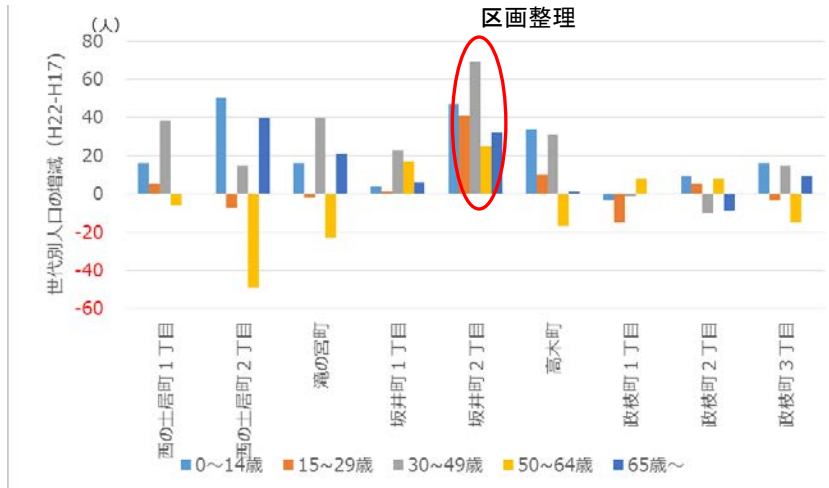
図表 小学校区別人口推計結果



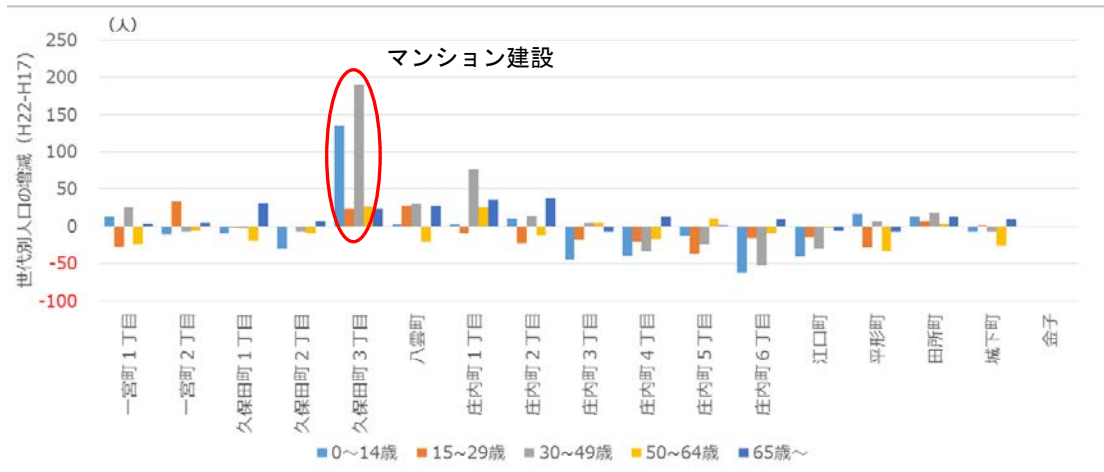


増加傾向にある小学校区について、平成 17 年から平成 22 年の世代別の人口変化をみると、子育て世代である 30～49 歳やその子供に相当する年代である 0～14 歳の人口の伸びが大きくなっている町丁目があり、これら若い世代の増加が将来人口の増加につながっていると考えられます。

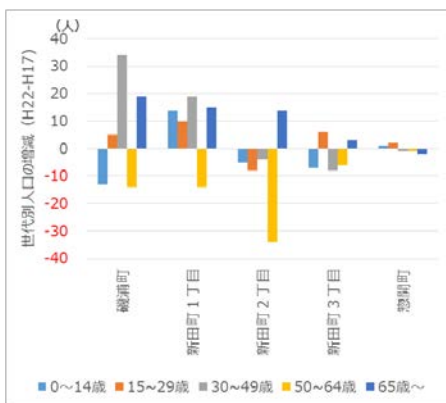
図表 金栄小学校区の町丁目別年代別人口



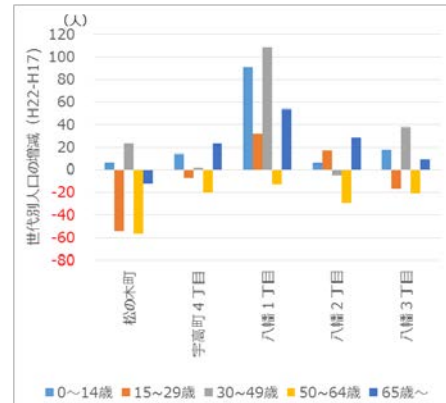
図表 金子小学校区の町丁目別年代別人口



図表 若宮小学校区の町丁目別年代別人口

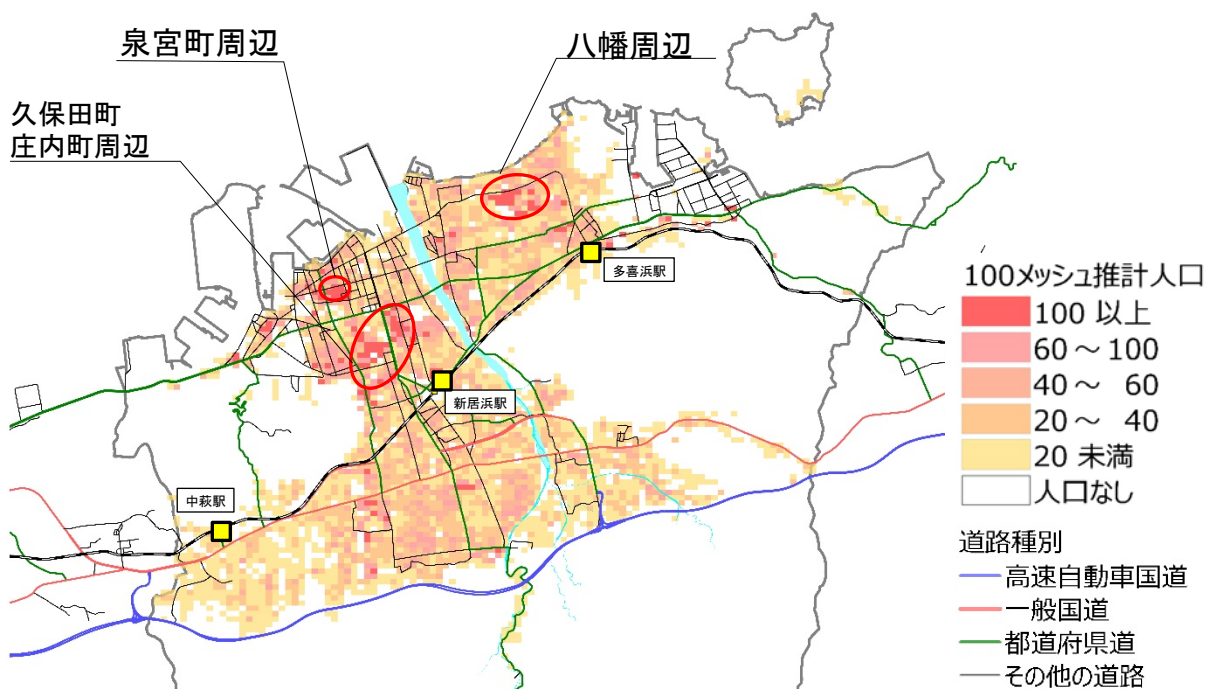


図表 浮島小学校区の町丁目別年代別人口

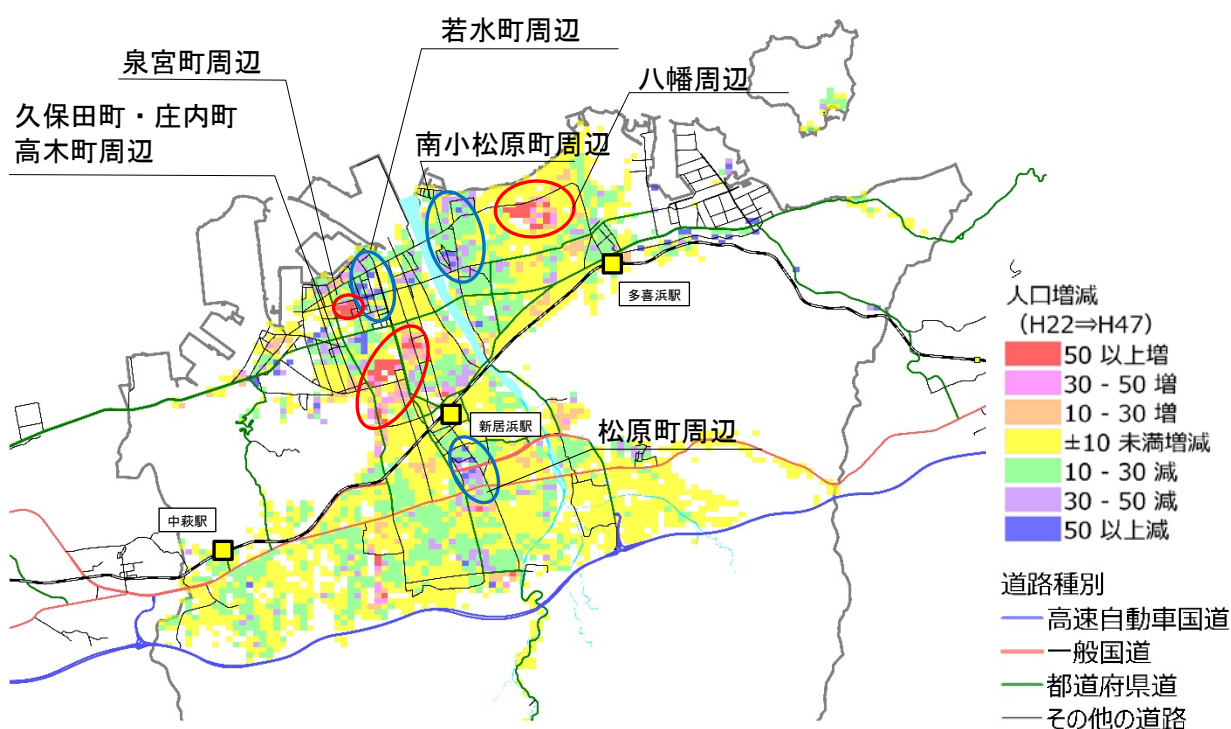


平成 47 年時の 100m メッシュでみた人口分布は、市街地中心部である庄内町や久保田町、泉宮町の周辺や、八幡の周辺で人口が集中しています。また平成 22 年からの増減で見ると、人口集中が見られる地区で大きく人口増加しており、一方、南小松原町、若水町、松原町周辺の人口減少が大きくなっています。

図表 100m メッシュ人口(平成 47 年)



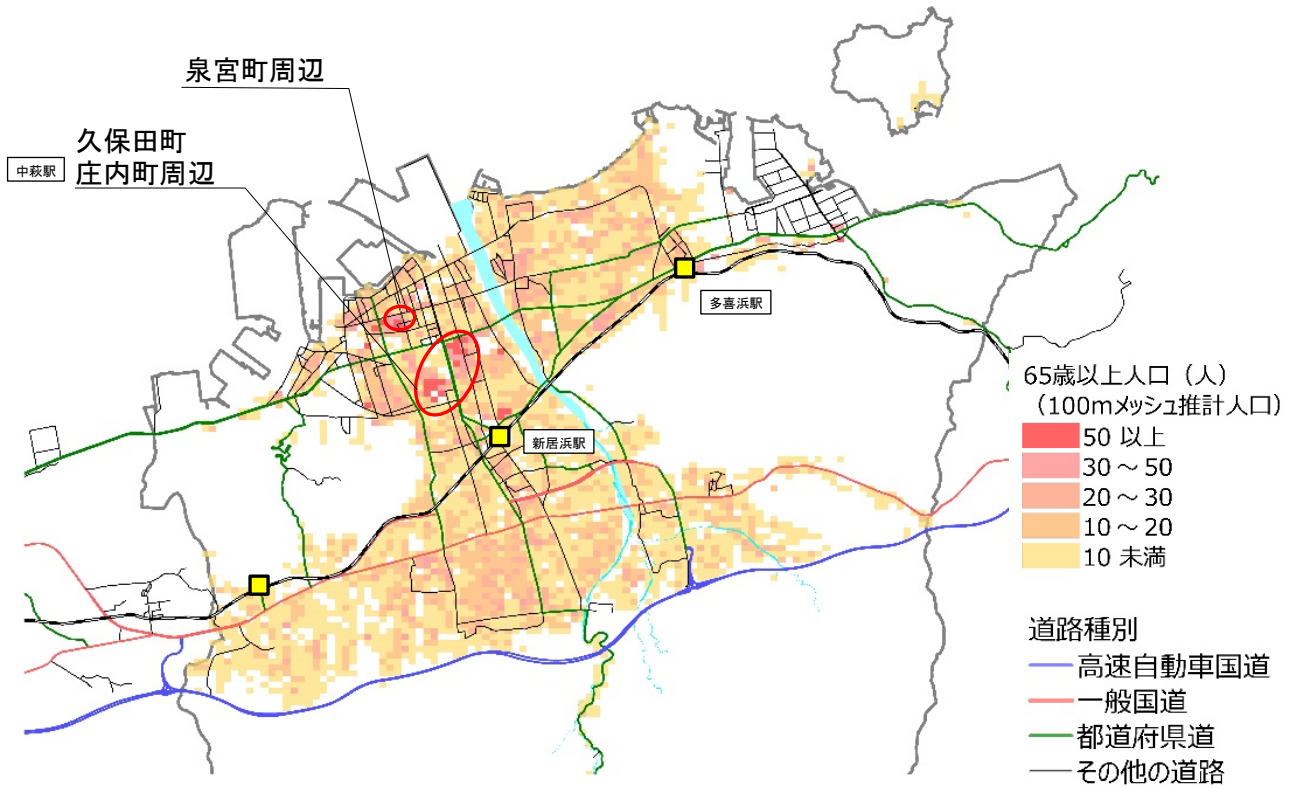
図表 100m メッシュ人口増減(平成 22 年→平成 47 年)





高齢者の人口分布は、市街地中心部である庄内町や久保田町、泉宮町の周辺に集中し、これら高齢者が集中する地区周辺や郷周辺での高齢者人口が増加する見込みです。

図表 100m メッシュ高齢者人口(平成 47 年)



図表 100m メッシュ高齢者人口増減(平成 22 年→平成 47 年)

